

後志管内唯一の生花卸売市場の株
おたるHANAオークションは、2
018年、株小樽花卉園芸地方卸売
市場から事業を引き継ぎ設立されま
した。

同社は、札幌の札花ホールディン
グス株の子会社で、「札幌花き地方卸
売市場」の荷受会社である札幌花き
園芸株は、兄弟会社にあたります。

卸売市場は、全国各地で生産され
た商品を仕入れ、小売業者に販売を
行います。生産農家は市場に出荷す
ることで、沢山のお花屋さんへ花を
販売することができ、お花屋さんは、

全国各地で生産された花を効率よく
仕入れることができます。北海道では
は、インターネットで生産者が直接
お花屋さんに販売することは少なく、
卸売市場で花が売買されることがほ
とんどで、卸売市場は花の流通のパ
イプ役を担っています。

株おたるHANAオークションの
仕事は、朝6時から始まり、片付け
や商品の配達が終わるのは、午後3
時頃です。競りが行われる午前中は、
市場は競り人の掛け声が響き、活気
があります。

小樽の市場は「手やり」と呼ばれ
る数字を示す指の動きと声で競りま
すが、150人程の買い手がいる札
幌の市場では、声が届かないのと
「手やり」だけで競りを行っていま
す。

現在、同社には2人の競り人がい
ますが、競り人になるには、市場で
荷出しなど様々な仕事を数年経験し
てから、資格試験を受けられるよう
になります」

競り人になつて20年のキャリアを
持つ小松さんは、「生産者と買い手の
眞中にいるのが私たちなので、農
家さんのことを思つて競りをしてい
ます」と話してくれました。

市場で取引される際は、産地別に
仕分けられ、「規格」で等級(品質)
が選別され、競りにかけられます。
それぞれの花の種類には、規格があ
り、「秀」「優」「良」さらに「秀2L,
L,M,S」に選別されます。花の
形、色、花首の角度、葉の位置、付
き方などの見栄えで品質と値段が決
まります。工業製品のように均一に
生産されるものとは違い、自然が作
り出したものを「規格」で選別する
ことで、市場の信頼が保たれています。

道内には、花専業農家は少なく、
畑作や水稻と兼業している農家がほ
とんどですが、夏場の北海道は、花
の一大産地です。気温が高すぎると



株式会社 おたるHANAオークション

花のつきは悪くなり、日中と夜の気温差が大きい北海道特有の気候は、発色が良く、きれいな花を咲かせるため、北海道の夏場に生産される花は、本州では人気があり、一大産地となる理由です。

取材を受けていた吉田社長は旅行で、昔から旅先の美味しいものを食べるのが楽しみで、料理人を目指すか、お花屋さんを開業するか迷ったというエピソードを話してくれました。

若い頃は、市場で花を買ひ付けていたので品種名も全て頭に入っています。また、来店するお客様の好みを服装などの色使いから判断して花をアレンジして喜ばれていました。

吉田社長は、「お花屋さんを始める若い人が増えてきています。花は、ひとつひとつの単体ではどれもきれいですが、集合体になるとセンスが問われます。お花屋さんも、昔と変わり、扱う花の種類で個性を出す店が増えていますので、好みに合つた

いかと思います」と話されました。

花束やアレンジ花をファッショント
同じように楽しめます」と教えて頂きました。

新しい品種の花が増えたと同時に、
品種改良も進み、見た目にめずらし
い花や日持ちする花も生産され、好み
みや用途によって以前より使い分け
できるようになつていています。

吉田社長に好きな花を訪ねると「野
に咲く花 野に咲くコスモス」と答
えられ、花を愛する優しい人柄を感じ
ました。



高い場所から競りを聞き取り、取引を記録します



吉田社長



小樽市奥沢2丁目7番14号
電話 25-3721



取材当日は、約20種類の
バラの競りが行われた



通年で売っているカーネーションは
2年草で、その時々で産地が違う